

第 30 回近畿臨床工学会 BPA (Best Presentation Award) について

第 30 回近畿臨床工学会では、Best Presentation Award (BPA) の選出を行います。

BPA セッションに登録された抄録を、和歌山県臨床工学技士会 BPA 担当委員 5 名にて、発表者の関連情報（氏名、所属施設、共同演者）を秘匿とし下記採択審査項目に基づき審査を行います。採択された演題は 11 月 23 日の BPA セッションにて発表いただきます。尚、BPA 不採択演題に関しましては、一般演題の査読基準に則り再度審査を行い、そこで採択された演題は一般演題の当該セッションにて発表いただきます。

～BPA 演題採択審査項目～

【事前審査項目】（各項目 10 点）

- ・ 応募段階において他学会で未発表、未応募の研究内容である
- ・ 演題名は適切であるか
- ・ 研究目的が明確に分かりやすく提示されているか
- ・ 目的を達成するための研究方法は適切か
- ・ 導かれた結論は妥当な内容か
- ・ 考察は飛躍し過ぎていないか
- ・ 結語は有用な結論が導かれ、本研究のまとめになっているか

BPA セッションで発表された演題を、各府県より選出頂いた BPA 担当委員にて下記審査基準に基づき審査を行い、最優秀演題賞 (Best Presentation Award) を選出します。

受賞者には 11 月 24 日の閉会式にて第 30 回近畿臨床工学会大会長より表彰させていただきます。

～BPA 演題最終審査項目～

【最終審査項目】（各項目 10 点）

- ・ 研究方法の明確さ、研究方法の妥当性
- ・ 倫理的配慮がなされているか（COI 開示、個人情報保護等関連ガイドラインに配慮できているか）
- ・ 研究の新規性
- ・ 研究の実用性（研究内容の臨床応用の可能性）
- ・ 発表スライドのデザイン
- ・ 発表は抄録に沿って、「テーマ」、「はじめに」、「目的」、「方法」、「結果」、「考察」、「まとめ」等の基本要件をまとめられているか
- ・ 議論、論理展開の妥当性（上記の基本要件は論理的に連携し、研究の妥当性や信頼性を支える構造となっているか）
- ・ 発表での姿勢
- ・ 質疑応答への対応

～第 30 回 近畿臨床工学会 BPA 最終審査手順～

- ・開始 5 分前までに会場の最前列に集合してください
- ・開始前に評価表を配布しますので、評価内容についてのご評価をお願い致します。
- ・座長は規定時間からの超過した秒数を“超過時間記録表”に記載して下さい。
- ・セッション終了後、評価表を学会担当者にお渡し下さい。
- ・審査員と同施設の発表に対しては審査から外れて頂きます。
- ・演題に対する会場からの質問は受け付けない事とし、座長からの質問としてプレゼン時間枠を厳守し 1 問以上お願い致します。

評価方法

- ・各審査員の合計点を算出する
 - * 採点の目安
 - 大変優れている = 10 点
 - 優れている = 6～9 点
 - 普通 = 5 点
 - やや劣っている = 2～4 点
 - 劣っている = 0～1 点
- ・平均点からプレゼン時間超過減点分を差し引き得点とする
 - * 超過時間減点
 - 30 秒未満 5 点減点
 - 30 秒以上 60 秒未満 10 点減点
 - 60 秒以上 90 秒未満 15 点減点
 - 90 秒以上 20 点減点

2024 年 5 月 8 日

第 30 回 近畿臨床工学会

大会長 山崎 将哉

BPA 担当 坂本 亮輔